

第 3 回	テーマ：行動分析学的な「こころ」理解 行動分析学、スキナーが考えた「こころ」、行動と環境、ABC 分析、「罰なき社会」
第 4 回	テーマ：見る・聞く・感じる・わかる 外の世界を知る感覚器と感覚のメカニズム、ヘレン・ケラー、知覚すること、錯覚
第 5 回	テーマ：学びのメカニズム 古典的条件づけ（パブロフの犬の実験）、オペラント条件づけ（スキナーのマウスやハトの実験）、観察学習
第 6 回	テーマ：憶えること・忘れること エビングハウスの忘却曲線、記憶のプロセス、記憶の貯蔵庫、ワーキングメモリ、嫌悪記憶のフラッシュバック現象
第 7 回	テーマ：心理的機能の発達 生涯発達の視点、各時期の発達の概要、ピアジェの発達理論、エリクソンの発達課題
第 8 回	テーマ：性格（パーソナリティ）と知能 何を性格と呼ぶか、性格の分類、ビネーの知能検査の始まり、何を知能と呼ぶか
第 9 回	テーマ：情動・情緒・感情 情動のメカニズム、楽しさや怖さで行動はどう変わるか
第 10 回	テーマ：思考と言語 問題解決、推論、非言語的コミュニケーション、言語の特性
第 11 回	テーマ：非認知スキル 社会情動的スキル、自尊心、自己効力感、実行機能、心の理解、共感性
第 12 回	テーマ：「こころ」のアセスメント 知能検査、性格検査、発達検査、行動観察、インタビューによって「こころ」の何を理解するのか
第 13 回	テーマ：「自閉症」支援から「こころ」を考える カナーは最初の論文で自閉症をどう考えたか、自閉症原因論の変遷、感覚と偏食、「こころ」の理解に基づく支援のあり方
第 14 回	テーマ：「場面緘黙」支援から「こころ」を考える 場面緘黙の症状、場面緘黙の多様性、発話や行動の抑制と不安、「こころ」の理解に基づく支援のあり方
第 15 回	テーマ：「行動障害」支援から「こころ」を考える 行動障害の種類、行動障害の発生メカニズム、氷山モデル、「こころ」の理解に基づく支援のあり方
テキスト	プリントを配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・「心理学 第5版補訂版」 鹿取廣人他著 東京大学出版会 ・「心理学史」 大芦 治著 ナカニシヤ出版 ・「パブロフの犬:実験でたどる心理学の歴史」 アダム・ハート=デイヴィス著（山崎正浩訳） 創元社 ・「心理学ミュージアム」 日本心理学会 Web サイト https://psychmuseum.jp/?ja=1 ・「心理学ワールド」 日本心理学会機関誌 （以下の URL から閲覧・ダウンロード可） https://psych.or.jp/publication/world

課題に対するフィードバックの方法	<ul style="list-style-type: none"> ・小テストは提出後に回答例を提示する。 ・定期試験は成績発表後に回答例を提示する。
学生へのメッセージ・コメント	<p>「こころ」について科学的にわかっていることは多いですが、わかっていないことも多くあります。この授業を通して自分自身の「こころ」を理解する新しい視点、他者を理解する新しい視点を学んでほしいと思います。</p>

